

一般財団法人 群馬経済研究所

ぐんま 経済

No.454
04
GUNMA
ECONOMIC
JOURNAL
2021

トップ
インタビュー

— 産業展望台 —
エスビック株式会社

経済
講演

ロボット・AI時代に求められる社会、企業、人材とは
～コロナ禍におけるこれからの地域経済の可能性～
東京大学大学院経済学研究科教授 柳川範之

景気
見通し

わが国の当面の経済展望（2021年春）
21年度前半に反発するも、その後伸び悩みへ
—明日を信じて成長投資を進められるか—

調査
報告

群馬県内自動車部品製造企業の経営動向と意識調査
～2020年度の振り返りと新型コロナウイルス感染収束後の経営の方向性～

調査
報告

アンケートにみるコロナ禍における
群馬県食料品製造業の動向

現場
訪問

前橋橋本合金株式会社 本社・前橋工場

前橋橋本合金株式会社 本社・前橋工場

訪問日：2021年2月5日

当社は、アルミニウム・マグネシウムの鋳造と機械加工を事業としており、型の設計、鋳造、鋳造製品の高精度な機械加工まで一貫した対応が可能です。

1. 沿革

1918年に京都で創業。神仏具および工芸品を製造していたが、1937年に日新電機株式会社の協力工場として機械部品の製造に着手。1963年に日新電機株式会社の要請で前橋市に工場を新設し、現在に至る。

2. 当社概要

- (1)所在地 前橋市総社町総社2117-1
- (2)代表者 代表取締役 橋本 実氏
- (3)創業 1918年2月
- (4)資本金 1,000万円
- (5)従業員数 60名
- (6)製造拠点 本社前橋工場、九州工場
(鹿児島県霧島市)

3. 当社製品の主な用途や特長等

(1)当社製品の主な用途

- ①重電関係向け
- ②半導体製造装置向け
- ③業務用映像機器向け

(2)当社鋳造製品の特長

- ①大型アルミ鋳物の高気密鋳造技術
半導体製造装置用真空容器の製造に活用



大型パイプ鋳込み製品（半導体製造装置向け）

②パイプ鋳込み（いこみ）技術^(注)

半導体製造装置、太陽光発電装置などに活用。

(注) 金属を溶かして鋳型に流し込むこと。



当社の強みは高気密でパイプをアルミ合金内に鋳込む技術

(3)取引先

日新電機株式会社、株式会社アルバック、キヤノン株式会社など

4. 見学内容

(1)事業内容、製品についての説明

当社沿革、当社強み、製品の特長等の説明。

(2)工場見学

①木型用立体自動倉庫

半世紀におよぶ歴史と当社のノウハウが詰まった木型を大量に保管。



②砂型製造ライン

- a) コンピュータで鋳造シミュレーション
- b) 3Dデータで型を設計
- c) 砂型製造ラインで砂型を製作



製作中の砂型

③溶解炉

アルミニウムを約700℃に加熱して液体状の金属にする。



④鑄込み

砂型に液体状の金属を流し込む。



⑤型バラシ

砂型を取り除き、製品を取り出す。



型バラシ直後の鉄道関係向け製品

⑥素材仕上

型バラシをした製品は、バリと呼ばれる不要な突起がある。バリを無くすため、製品を研磨し、その後、洗浄処理を行う。



⑦機械加工

お客様の要望に応じて鑄造品を精度の高いあらゆる形状に加工する。



機械加工機の前で



前橋工場前で、橋本実代表取締役（右側）と橋本浩伸常務取締役（左側）と

（記事：主席研究員 河村英輝）

ご案内頂きました代表取締役の橋本実様、常務取締役の橋本浩伸様、総務部長の宮原一雄様、営業課課長代理の高橋義之様、誠にありがとうございました。